

未来の町をよりよく するために



16人の
子ども議員が
登壇

8月9日、町制施行60周年記念事業として、玉村町子ども議会が開催されました。町内の小中学生16人が議員となり、町の未来や身近な問題について提言や質問を行い、担当課長が答弁しました。

今回の体験を通して、子どもたちが町や議会にさらに関心を持ってもらえるとうれしいです。議会も子どもたちの意見を反映させながら、よりよいまちづくりを目指していきます。

子ども議会に参加した感想は？



日ごろ思うことを直接言えたので、とても有意義でした。一つでも実現されることを楽しみにしています。

回答が具体的でわかりやすかったです。子ども議会が、町のこれからは生かされていくとうれしいです。

大人になって議員にならないと体験できない貴重な体験ができました。楽しかったです。

初めてだったため、緊張してしまいましたが、やり遂げることができてよかったです。

ほかの子ども議員の質問や答弁を聞いて、知らないことがわかりよかったです。子どもの意見を町に伝えることができうれしいです。

子ども議会を通して町のことをもっとよく知れた気がします。この体験を生かし学習していきたいと思います。

子ども議員の質問に対して、課長さんたちは真剣に答えてくれました。町の議会でも議員さんや課長さんが真剣に議論しているのだらうと思いました。



子ども議員からの質問

ふるさとまつりの参加者を増やす取り組みはありますか。

文化センターや図書館の利用者を増やすため、どんなことをしていますか。

車の通りが多く、危険な道に信号をつけるなどの安全対策をお願いします。

サッカーや野球以外にも、いろいろなスポーツが楽しめる屋外施設をつくってはありますか。

町では、どんな防犯対策や不審者対策をしていますか。

8月1日を玉村町民の日にした理由は何ですか。

ごみが散らばっているごみステーションを見かけます。何か対策はありますか。



見る・聴く・学ぶ

研修では、3つの分科会にわかれ、読まれる・伝わる紙面づくりについての講義を受けた後、全国8町村の議会広報クリニックが行われました。クリニックは、参加町村の議会広報紙を講師が講評するもので、よい点や改善すべき点が具体的にわかり、大変参考になりました。また、それぞれ特色ある議会だよりに大いに刺激を受けました。よい点は取り入れ、皆さんに読んでいただける議会だよりを発行していきます。



改善ポイントを具体的に学ぶ

平成29年7月4日
全国町村議会広報クリニック研修
場所：東京都全国町村議員会館
読まれる・伝わる
紙面づくりを学ぶ